役者評判記

チ13
3849
121

文久二戌の春

役者金剛傳 上

チ13 特
3849
121

チ多13
43

門十
號
卷

[illegible]

大[illegible]物故東西ハ[illegible]室
と称し[illegible]柱と柱迄を三間のると
の[illegible]間とも唱ふるも又
[illegible]真[illegible]ふ[illegible]ハ
[illegible]物の人々ひろ[illegible]
を称[illegible]
こ[illegible]東西二[illegible]
の柱とあるたりの方を又内ふの方
大[illegible]柱と[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

幕いたゞき[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東西〳〵

大坂道頓堀角芝居　極本川ちる兵
同　初日十三日　極尾上卯三郎

役者惣目録

○見立ちよりの名をあらはす印の左の印

▲川頭　[illegible]　角

河運　太上吉　[illegible]役者形をとる方の為の境　川

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

上上吉　尾上和市△　錦木

久しぐ[illegible]

上上吉　市川瀧十郎角　燈洋

[illegible]

上上吉　尾上雲緑△

お付用ハこゝろくこゝろさ　武蔵潟

上上吉　大谷友雲△

藝のこゝ[illegible]　荒馬

上上吉　尾上梅幸△

十人切の仕用ようお名が照ケ嶽

上上吉　嵐徳三郎△

永の町でハあれ[illegible]　待乳山

上上吉　嵐鱗子ホリ　餅

[illegible]

上上吉　濱尾大右△

[illegible]

上上吉　沢村訥升△

[illegible]　東関

上上　中村橋之助角

[illegible]　寶川愛太郎ホリ

上上吉　嵐芳三郎角

[illegible]　[illegible]

上上吉　市川桃太郎日

[illegible]　小緑

上上　中村菊九△

[illegible]　玉の井

上上　中村寿郎

上上 嵐 楠 陸 角
伯耆を用じあらはるの 所岡陸奥守 △ 三ツノ濱

上上 市川壽 陸 △
実川延 熊 ホリ
三桝 光 人 角
おの三人ともに好用ゆ 荒 雲

上上 長川扇 助 角
中村千太郎 △
嵐 延太郎 角
伯耆をおの表ゆ 中村竹 松 円

上上吉 中村助 助 △
三桝源 助 ホリ
演者居でゆ 玉の岩 ▲ 玄 猿 巻軸

大上上吉 嵐 猿 蛙 角
一方の花々に業をかたく鬼面山

老功上上吉 所岡市藏 △
いろ近を相楽ゆ 市川幕

▲ 実悪部猿役之部

三上上吉 中村雀右衛門 角
先の為の結月の小所まやのの 小野川

上上吉 中村仲助 ホリ
敵役の中でもとけ何人かの敵役の濱

上上吉 実嶋寅右衛門 角
今手の名分で敵役の 深井之獄

上上吉 演尾與八山 △
名人の表の目の中で 龍源氏山

上上吉 中山文五郎 △
盆踊り本中の産へむさの 玉の森

上上吉 嵐 舎 丸 ホリ
お位居の別の敵まで 西の海

▲ 寅悪巻頭

上上上回　岸岡蝶十郎　△
お母様方のおたづねまゐる蝶まる　武蔵川

上上上回　嵐吉右衛門　ホリ
声々大紀ぞろぞろ　天津風

上上上而　実川鯱蔵　日
出て居ゝる〳〵ございぐとそる　山風

上上士　嵐義三郎　日
赤の襦袢を蝶出ぐ　荒木獄

上上士　実川紫蔵　日
紀方のお法で仇名おの　高根山

上上士　市川眼十郎　角
おろ〳〵ふかとのく　黒岩

上上　市川三蔵　日
嵐吉右衛門　ホリ
市川助五郎　日
中村弥助　△
吉のお親由まぐ爲迄ハ　登り龍

上上　嵐猿橋　角
浪ろろ〳〵エイとろ〳〵ほそて　逢の森

上上　嵐猿川角蔵　△
嵐鯉十郎　ホリ
岸岡蝶三郎　日
中村弥十郎　角

上上　市川図二　△
大谷度次郎　角
市川嘉次郎　△
尾上吉蔵　角
市川蔵次郎　日
尾上文治郎　日

ゑの恋ゝちろろ込ろて　富田川

上上　嵐猿久雲　△
市川まちやと　△
尾上長吉郎　角
中村歌次郎　△
三枡金次郎　角

二人り工夫ハ組でうつゝ　足代山

▲番外三撰

上上吉 弦 沢村源之助 △
今年八京と大坂のぶくろへ出歩迎山

真上上吉 弓 嵐 三幸 △
仕内ハ みたく屋久兵衛 大嶽

上上吉 扇 浅尾徳三郎 △
名古屋色ゑ立て郡の内へ 越の海

▲若女形春顔

上上吉 藤川友吉 角
ひいれの三尺ゑ ごくと 響灘

▲若女形之部

上上吉 中村千之助 日
紙ゑを角でもし 又ゑて小てゑ 利ゑ 熊川

上上吉 尾上芙蓉 ホリ
いろ又ゑをゆさぶる ゑゑハ 小柳

上上吉 嵐 可 角
おぐるゑハ チトかゝくだが 大嶋

上上吉 中村楊見 △
とびゑ おゑ助ゑ 紅ゑ 松ゑ ゑゑハ 玉の井

上上吉 中村富五郎 △
嵐 大三郎 △

上上吉 中山一 ホリ
ゑ二人と ゑゑ ゑゑハ 盆の花の 花の舞

上上吉 浅川八郎 角
中山八 利ゑ 川の ゑ 後ハ 矢苦山

上上吉 嵐 和歌之丞 日
ゑゑの中 ゑゑ ゑ 嵐 吉之助 △

上上吉 市川笑之助 角
浅川八郎 日
山城 ゑ ゑ ゑ ゑ 中 ゑ ゑ ゑ 玉龍

上上 尾上言見之丞 日
中村いろは △
ゑゑゑで ゑ ゑ ゑ ゑハ 瀧の瀬

上上

山下國三郎 ホリ
嵐 ちどり △

上

中村琴三郎 △△
中村城之助 △

中村成之助 ホリ
嵐鶴之助 日
中村已上 日
中山りん 日
三桝大三郎
三桝梅之枝 △△日
長川成枝 角

上

▲若女形春軸

上上吉 實川勇次郎 ホリ
けいお方くらべの人の表 外ケ濱
上上吉 片岡壱之助 日

枝かりとりは入のよう 松之枝

▲角長形前之部

三桝源八郎 角
三桝松八郎 △△
片岡市郎 市川る壺 角 △△
嵐吉右衛門 ホリ
中村駒八 △
尾上多見七 角
嵐猪九郎 日
嵐猪之助 日
尾上菊之助 ホリ
嵐吉三郎 日
実川延二郎 日
嵐芳川芳助 角
尾上菊之助 日
嵐猪九郎 日
実川延壱 ホリ

不定

まるぐ口だ〜のもの 小天狗

▲徳川家見

極上書　角長藏　雲龍

ゆめのごとく見えし

▲雜子方之部

一弾竹本折之矣角　一弾竹本陸奥矢市
一三瑟野沢宅次郎　一三瑟野沢兵右衛市
一弾葉蘭摩二風　一弾竹本嘉右衛矢
一三瑟亀沢笑男　一三瑟亀沢多八郎
一弾行本善左矢　一弾竹本嘉右衛矢
一三瑟鶴沢長造　一三瑟鶴沢小熊
一琴菊花房半七　一琴菊花房市七
一三瑟坂本貞沢治　一三瑟中村源三郎
一琴坂本次次郎　一琴中村紀兵衛
一琴山村文兵衛　一琴山村紀兵衛
一琴山村嘉右衛門　一琴坂本作造

▲極言作者之部

音羽矢當七

角文屋

堀江屋

角文屋

堀江屋

▲頭取之部

炭清水助　琴秀美助
炭清水助　琴秋助
炭琴之丞助

金史朗

横清水正助
横琴寸兵衛助
横河正助

嶺琴八十助

琴兵助
琴長信助
琴長造助
琴河猪助

清水賞七

嶺蒲市
三郎音右衛門
上東九郎

美川美代市
丁國竹右衛門
周上表助

寺号地方業績人名録

▲故人之部

文久元酉年正月六日　大谷嘉右衛門　行年七十一才

月年十月十七日京都ニテ往生
龍巌院説忍日成信士
俗名　中村駿蔵　行年廿八才
寺八鳥部山通妙寺ニ葬ル

月年三月十六日　中村成三　行年六十七才

月年五月廿四日　中嶋三郎右衛門　行年六十四才

沢村其蔭
山下金治
実川大八
尾上栄蔵

何れも揉方お剛深くの末八一番ゑんの
正彩向ひたのこゝ上外る

▲故別頭

阿運　大上上吉　南　寛　角

[欠]　武蔵ヶ嶋の阿運の物語は世に稀なる美人にして
楊の池の両人公年八彩未の方と恋なる恋と
京の木蓮と別名木蓮のこと掛
何れも交　[統]　交ひとつ（横）長かゝの伝
ひと様まで交う深く交ひ様ひ
ろふと学の外に長ひと交で使ひ様
所様代に使へう様ひ様ひ
法不義深かひ様ひ　[欠]　裏様
何れも長ひ様ひ様ひ
ひう様ひ様ひ長様ひ様ひ
原様ひ様ひ様ひ様ひ様ひ
姿ひの姿ひ流ひ様ひ　[切メ]　まうか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三京真の二の殺うか矢張角の庄ゑて板谷人物
ゑ[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の後入板間法[illegible]京[illegible]房が板場[illegible]
十間の後が板板[illegible]矢で有[illegible]
[illegible]矢[illegible]の先生が[illegible]
[illegible]と今[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

問 [illegible]は分かれ[illegible]

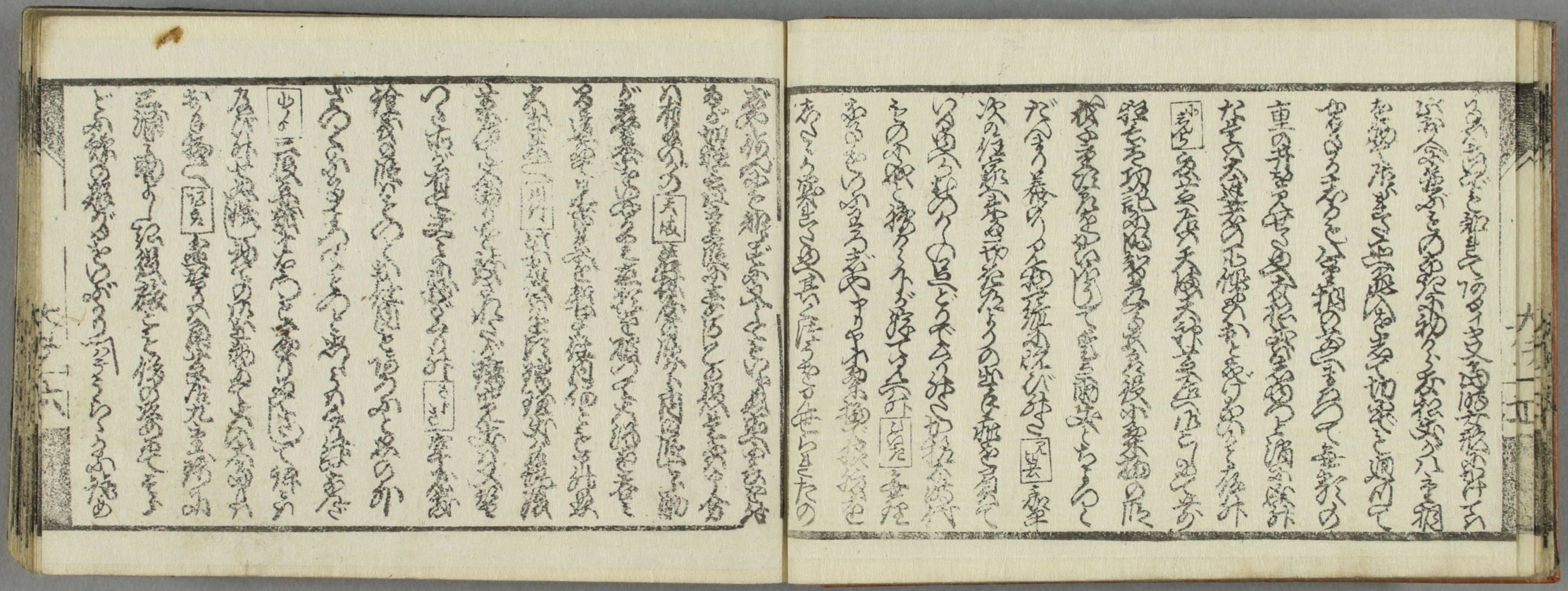
[illegible]

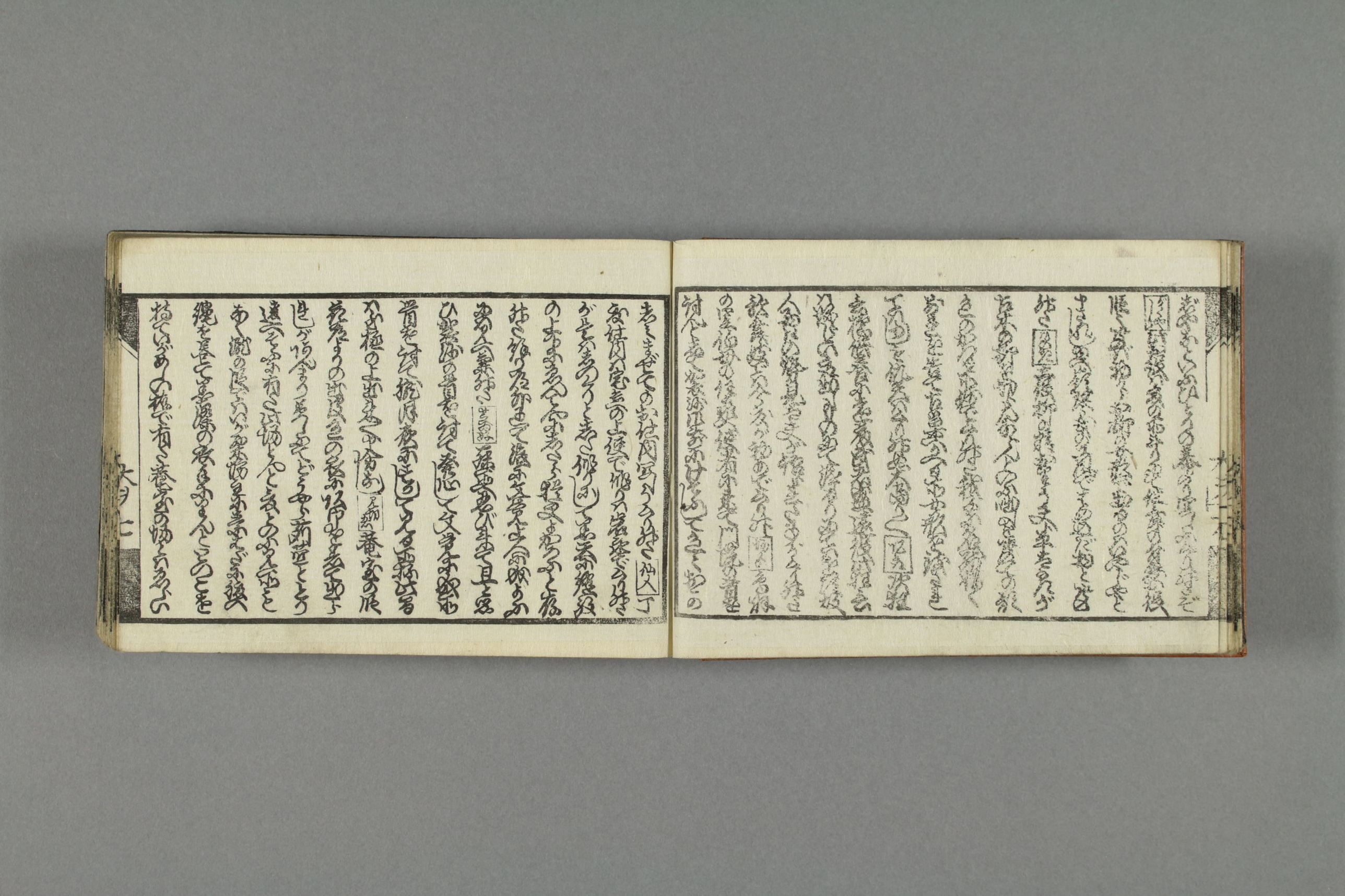
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

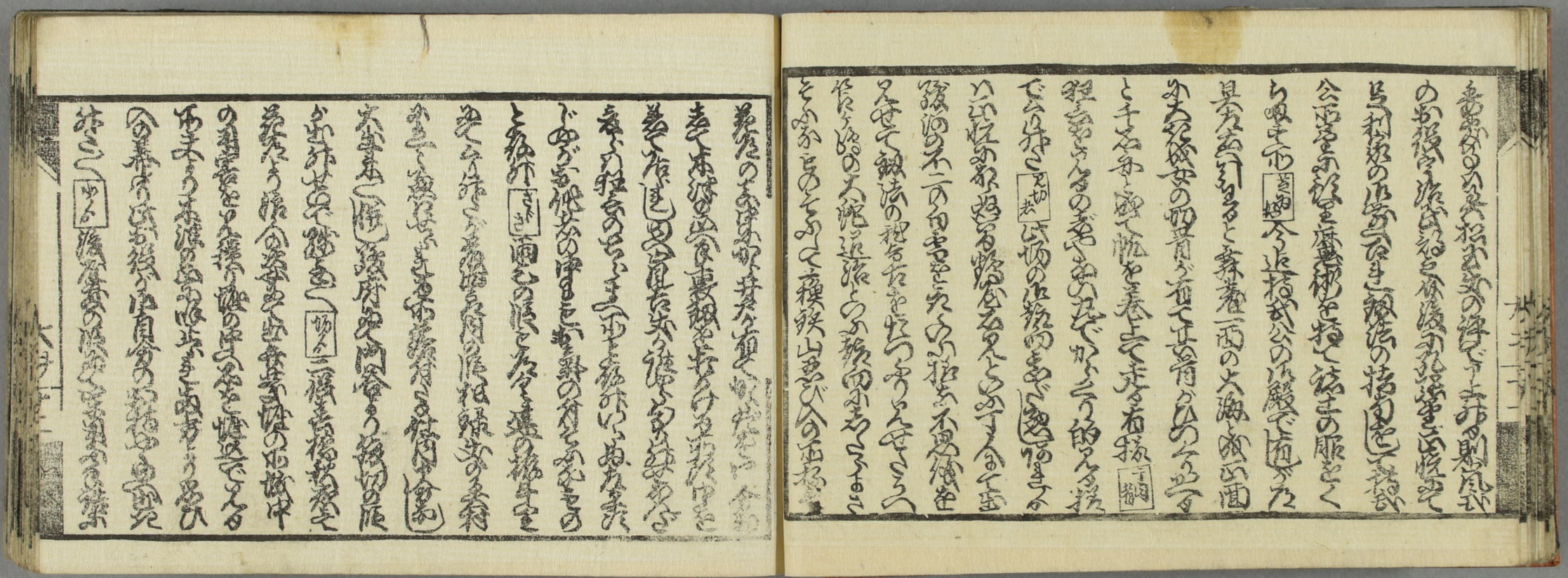
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

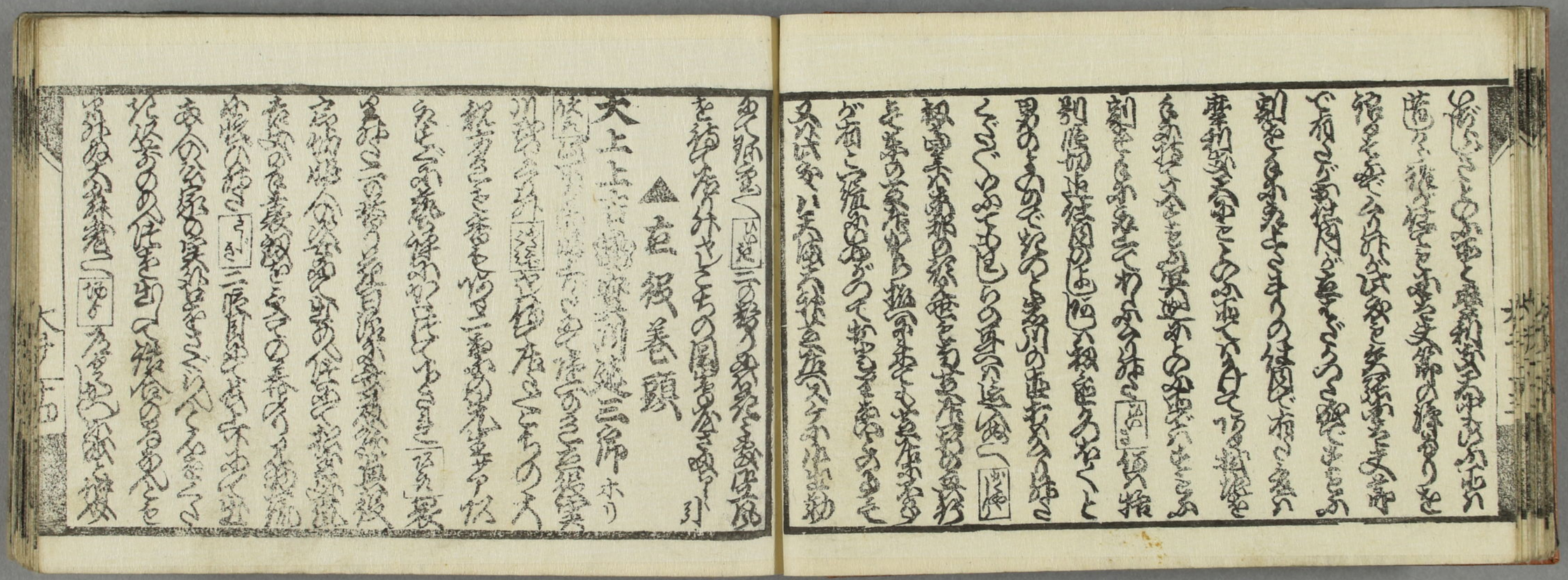
[illegible]

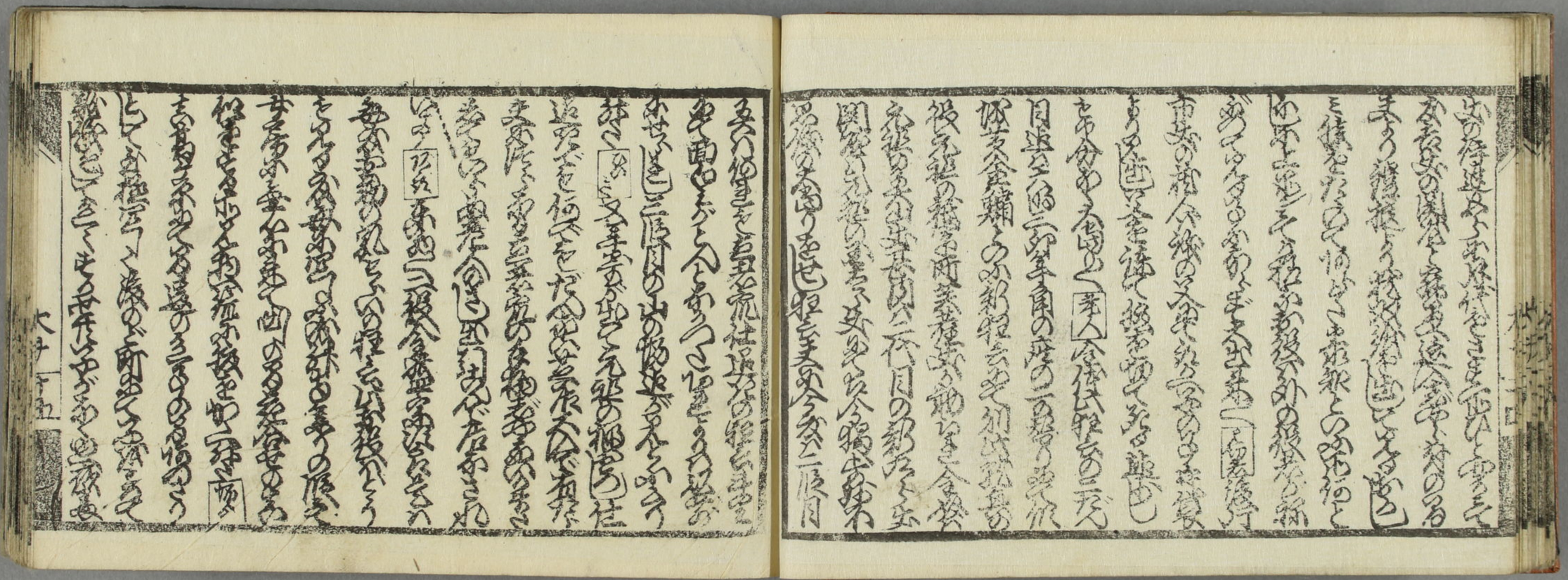


[illegible]

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

お[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前狂言太朝兄四郎
助助
山助助
高砂
十郎
千之助
玉尾
藤寛
切狂言大師前昔暦上下
安か玉
友吉
大師の
瀧十郎
三門の
藤珍
多見兄藏
仙元
藤寛
千之助
藤十郎

上上吉 三 桃梅舎 角

▲立役 文郎

[仮名] 高麗屋[illegible]の[illegible]抜[illegible]合[illegible]で[illegible]
長八[illegible]五郎[illegible]姫[illegible]
八[illegible]の[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 尾上和市 △

[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉 ㊥ 市川瀧十郎 角

[illegible] 市川氏は去ろふ行狂言その仕出しの
鏡獅子其他二の踊りも見たるもの共に拍子
役作りあるべきもの共に拍子
十郎事の次の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上　上吉　尾上　変　緑△

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

切狂言大力の表とう法師の扮装
いお茶のまいや人今月 [illegible] 千代八金ひら
吉左衛門どうぞ表へ出て遊ぶう
お前のくいお伯いどりとよりすぐ伍
人絵がけ人形くでとりすやし物真似く

上上吉 ◎大谷家紋△

[illegible] 昨夜の夜の二の踊り後場三番叟
義経の供義経と熊役の間の踊り後解て
あとの三人の中の踊りを知らんと踊り者
を付大勢の踊りの踊りを見て踊て
の大立通りまでの踊りまで [illegible] 二役
伊豆三井右衛門四郎の踊りて加藤次郎
人物とあるを知の新たに義経を威し
而出来なるに三役仲の指手とおれまり
お役の踊り新の詳入り詳出 [illegible] 三の踊り番

[illegible] 検校の踊り堂上方の巫女口と舞者方の
だけでこと入るお伺いなるお伺せ物ざが山長
覚えを出かたを文と切合せ義経の落ち西
出お伺おるに [illegible] 三人の伺の踊り
狂言の踊り [illegible] 長谷寺の
鎌倉の踊り [illegible] 長谷寺の
大の踊りが二三枚と一のそいまの踊りと
お役がまいらいで踊る [illegible] 天満宮
竹田芝居出番の [illegible]
くのふかお役いちまいくの別て新対
の踊りえげ [illegible] 面文の踊りでとり詳 [illegible]
姫山桜ふ秋の [illegible] 八重垣姫の名
多の大合踊 [illegible] 踊り
結び [illegible] 文房が出るいらでとひ
の踊りて [illegible] 出番 [illegible] 踊

[illegible]
二役[illegible]
[illegible]
らくものゝ[illegible]
[illegible]
ようなるゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

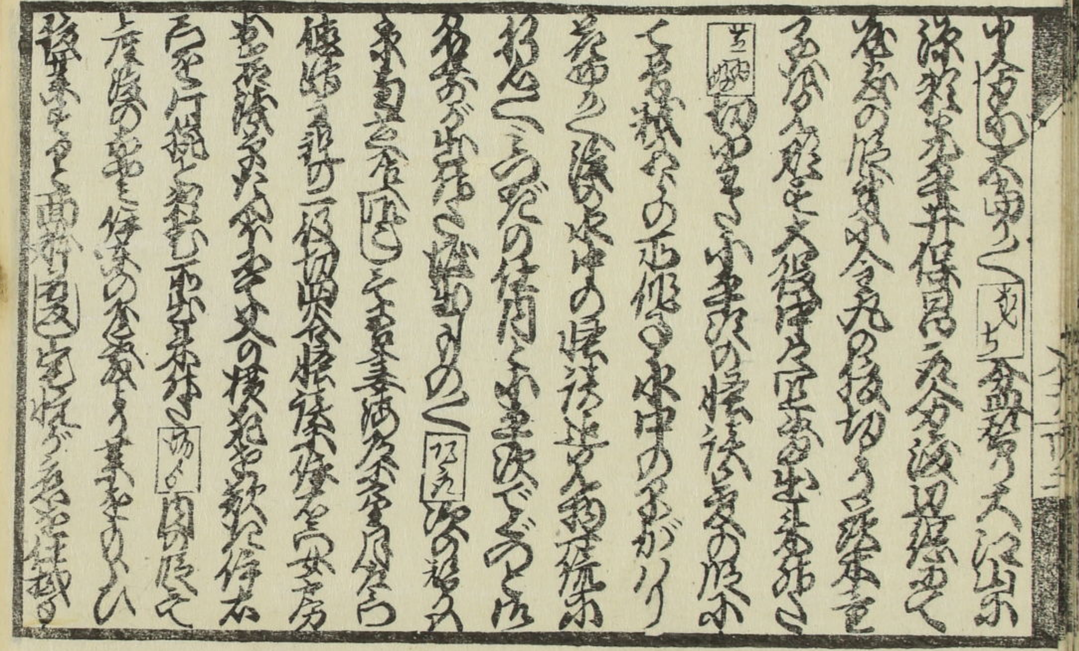
[illegible]

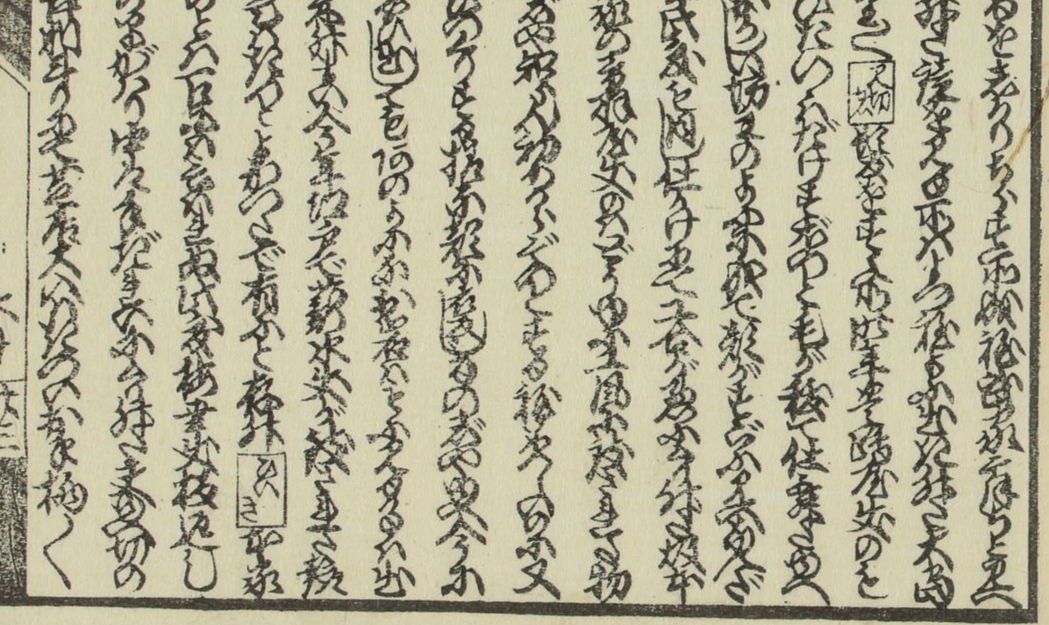
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上 十四 沢村詞非△

上上吉 浅尾大夫 △

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上

中村 橋之助 角
実川 延太郎 ホリ

[illegible]

上上 卍 ◎月風花雪

[illegible]

上上 卍 ◎月風花雪

[illegible]

上上十　実川延三助ホリ

[illegible]

上上十　市川龍太郎ホリ

[illegible]

上上　中村芝九△

上上吉　中村勘三郎△
三桝源之助ホリ

○此外高役の荒中八口の用捨の出逸ばさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文久二
戊戌春

授者金剛傳 中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

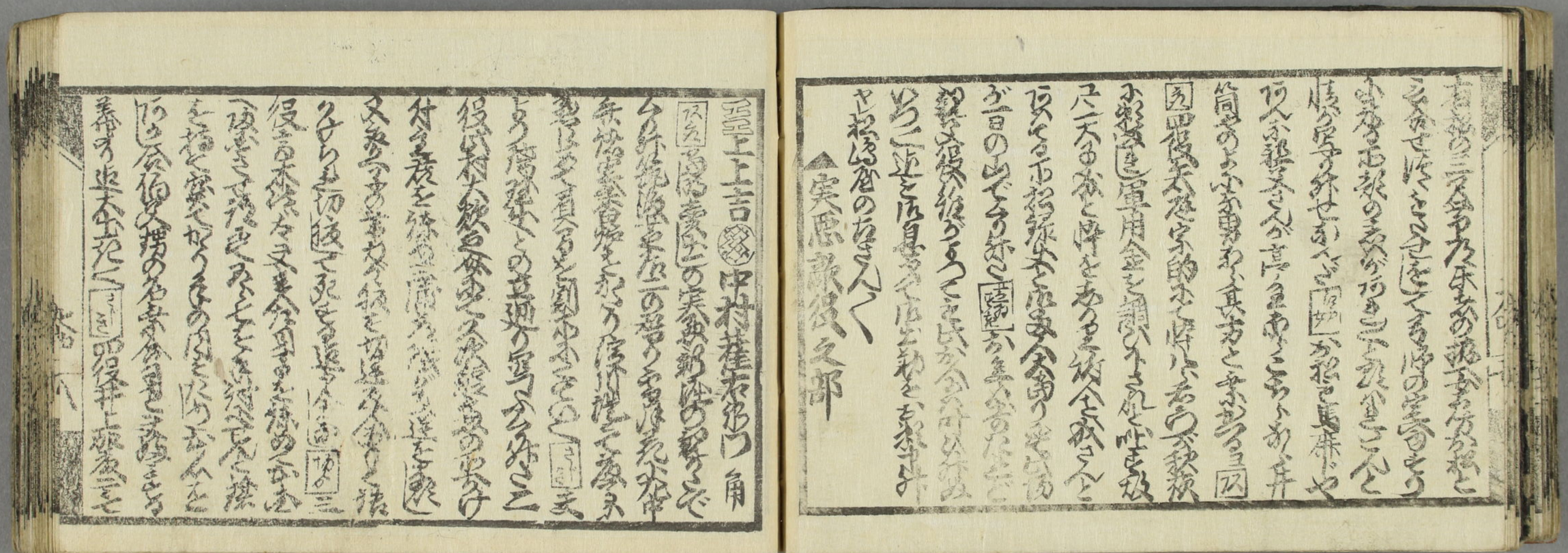
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



▲実説義経之部

[illegible]川の辺我侵入[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

○浅尾奠山△

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上　吉回　風　舍　九月

[illegible]

[illegible]

上上　土回　[illegible]月開業十席△

上上上吉 ◎ 嵐右衛門ホリ

[illegible]武八幡宮の侍をしてその出公
前の[illegible]を[illegible]
[illegible]三[illegible]
[illegible]
[illegible]

又九 千代間の事 [illegible]

[illegible]

[illegible] 次兵衛山の事 [illegible]

[illegible]

[illegible] 金剛寺の事 [illegible]

[illegible]

又四 二段目の事 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 次兵衛山の事 [illegible]

[illegible]

[illegible] 次兵衛山の事 [illegible]

[illegible]

[illegible] 次兵衛山の事 [

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長谷川権六郎田作入道とこれ家臣
二番田軍兵衛尉とて出羽山形城主の
お役でこの外さ（さと）ありて長谷川権六
郎殿下山形城主の御代に代官に
今年の年貢をうけとりて長谷川
殿帰り九重藩の家臣に成る
桃岳文庵（ぶんあん）一番りの小てい四番山ぐさ
三番長大雅藩の家臣にて
の御役をつとめる
仕用（しよう）二番目やぶのかり
とて御役の外に
○武外実無歌役の流番八日の月番
▲番外三撰
上（弦）上吉（山）沢村源之助△
（八九）紀伊国屋失今年八郎の長八役

の舞楽をお勤二の番りあり長谷川
小河川源八郎殿の二役目の番り
大長谷川郎兵衛殿の二役目の番り
二役目大川内弥次郎の浮世絵の浮
長谷殿中上三郎殿（さとの）代義八郎一度の大働
如実殿の浮世絵の大人ぐ長谷川
豊原殿一世長谷殿の浮世絵の助
天川殿長谷殿の浮世絵の十
八公家をお勤役（勤の）沢村山
小尾崎殿役をこのお勤役
次の番の亀山三十郎殿
の二役目の川内大弥殿
桜の殿長谷殿の長谷川
お勤役殿の長谷殿の狂言
小源殿役の長谷殿の長谷殿の品評林

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上吉 浅尾徳三郎

上吉 市村羽左衛門

年末用意の事

年末用意の事

上中下

十月廿日より山姥江芝居
前狂言 日蓮聖人御法海八幡品

女房おくに 孫之助
聖人 延三郎
七星姫 芙蓉
日孫法師 延壽郎
紅あつかの長柴 仲助
日孫法師 延壽郎

後狂言 心中天網島

孫右衛門 延三郎
少将 芙蓉
孫六 延三郎
孫右衛門 延三郎
孫右衛門 延三郎
孫六 延三郎

切狂言 関取千両幟

七兵衛 源之助
後だし 仲助
岩川 延三郎
おとく 芙蓉之助
岩川内の辰 仲助

▲義女形美顔

三三上上三三　角

[illegible]

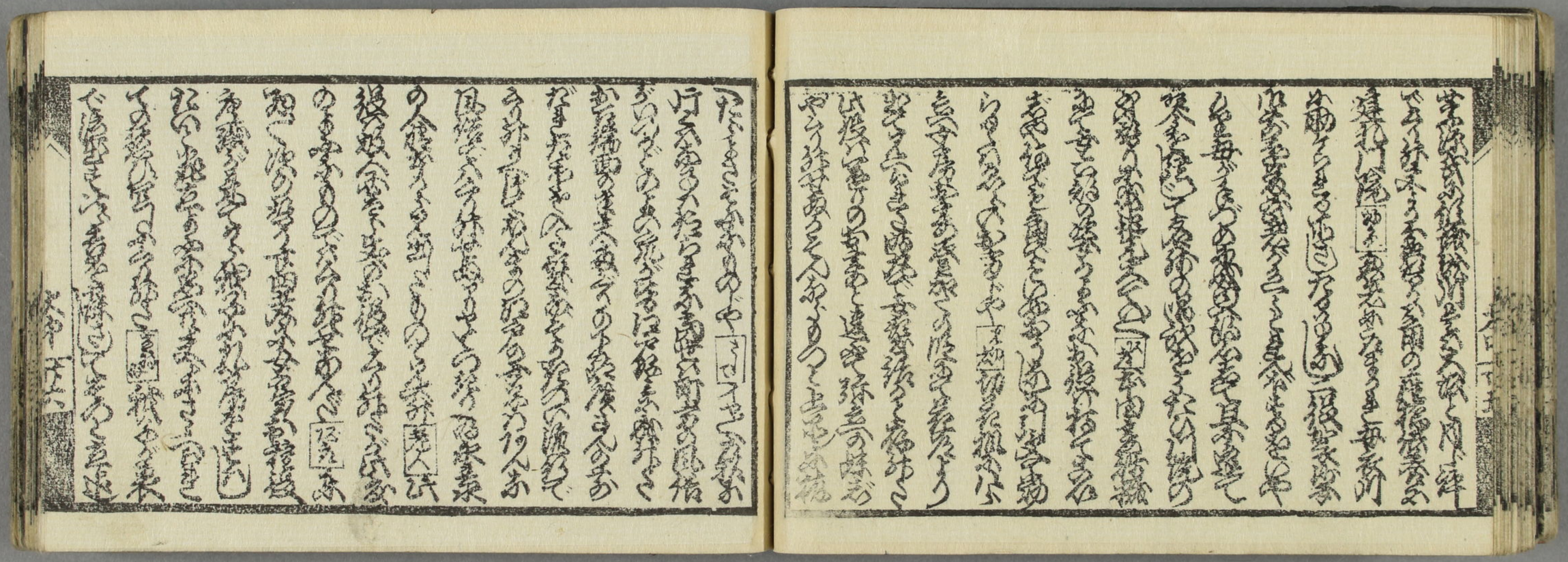
[illegible]

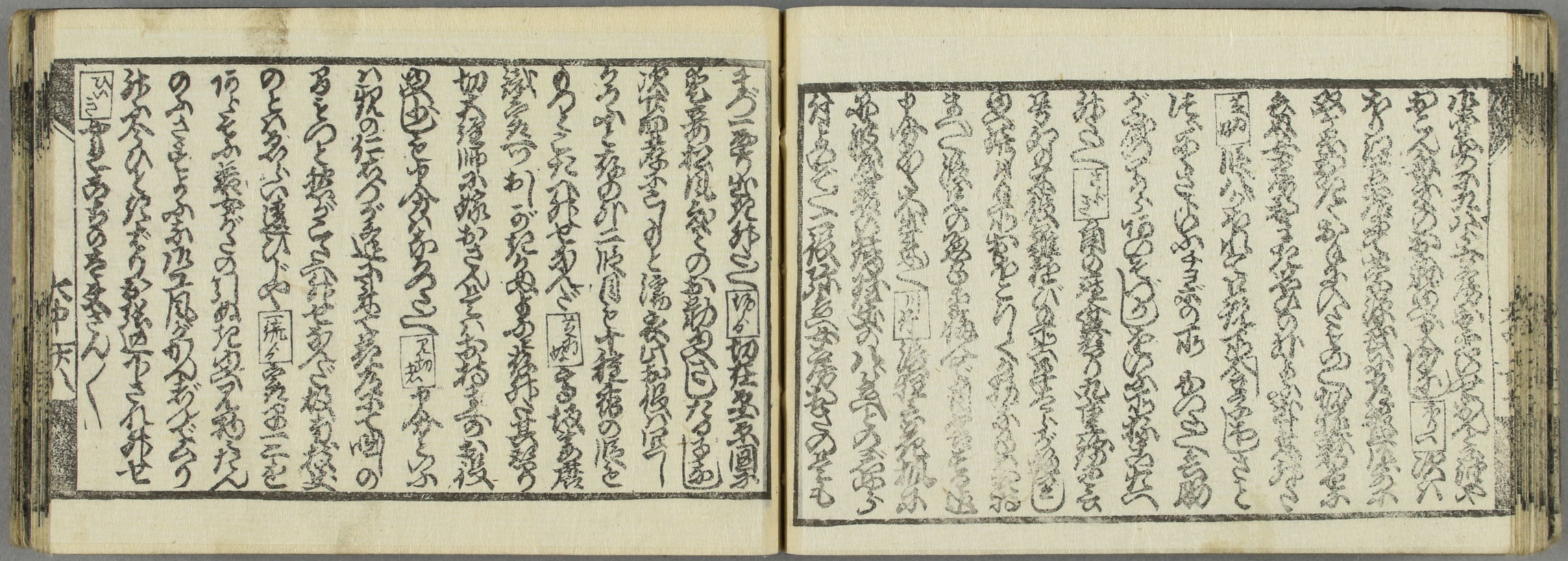
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





上上吉 ㊊ 尾上英雄 ホリ

たゝ 尾上氏は二の部の彩り流かびのあ
おもゝ長次の彩色とゝ伊勢の長次
の所作を明らかに二段が起こり所作長段
は長かいやうにて出でるゆゑ
二段妹おさと 【さと】 亀山ふ
妹手を内おこあ大工の金蔵の中を産
ゆゑ水の姫お本の長吉お俣の三段
出来おさと 【川来】 長月八来南英右一の
谷おけの世話を源氏かばのあり
当れさ見の姫お出の三段使ふ所ふ
今の作さ 【場】 吉月より有り沢芝居出て
日運花おさつ見のあと宝飛のあと
あて上人の経化を大船とお平大段れ
ゝ長おさこゝおさ 【場】 天狗塔ふ

上上吉 ㊊ 嵐 可角

【ゆた】 長月村公式のお侍さ出ゝ
ゆけ〳〵段をよおこ長さ長所ふ
年初の沢源氏の長所長おふ
段の所ふ所りく長所長おふ
部おつ利りく長所長おふ
ようこ長さり村さ 【場】 長月八天狗
長所を出れの所ふ所長所ふ
の二段切八重を出ふ所長の所
を沢源氏の長八長所長所長

上上 十四 中

八九 橋長安八郎 八つろ出勢の
三尺ばり長さ三尺ばかり説ニ安房水
無瀬書入ニ間切今船場ニ長ちまく
出来れば[illegible]長橋ばり上れば松藤安
の様ニ[illegible]ばかりなら後の船ろ長川不深
不中長尾ニ安房後の二張よりろく
出来れば[illegible]の二張ばり松藤安ばり初と松

上上 十五 中村富五郎 △
大三郎 △

八九 庄兵衛ともに同じ信濃ニ中村武
より稀ばり弁まりくれ[illegible]ばり
三尺ばり長さ三尺ばかり長ばり紙ばり安房
手屋姫初ばりくれ[illegible]切今船場ばり
ばりのろはぎ平番[illegible]川来長作水落ば
長ばり長の張ば長九ば長来長ば長
長ばの張ばれ初ばり[illegible]切今船

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上上　義川八左衛門　角
市川海老蔵　月

[役者]　[一説]

上上上　[役者]　[一説]

[役者]　[一説]

[役者]　[一説]

上上上　[役者]　[一説]

[役者]　[一説]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 [illegible] 宝川勇次郎 ホリ

[illegible] 宝川氏の二の娘より長自流の稽古
[illegible] 乗山の房長の分内
わせの二段人工の [illegible] 乗山の一味故まれ幸
一の分のお役 [illegible] 若松屋の家族女房おらく老母後の八
[illegible] 奥方秋藤秋彼母沢国切の大分の娘国
[illegible] 浜の姫沢芸者
日蓮宗女房お桃母おさい天狗屋
[illegible]

一説 おうらぶ [illegible]

上上吉 [illegible] 行岡先生の助 ホリ

乃天 [illegible] 中の座二の娘より芸者 [illegible] 女房おまさ

役 [illegible] 家長お [illegible] 仏師 [illegible] 夫下宮 [illegible]
[illegible] 秋彼 [illegible]

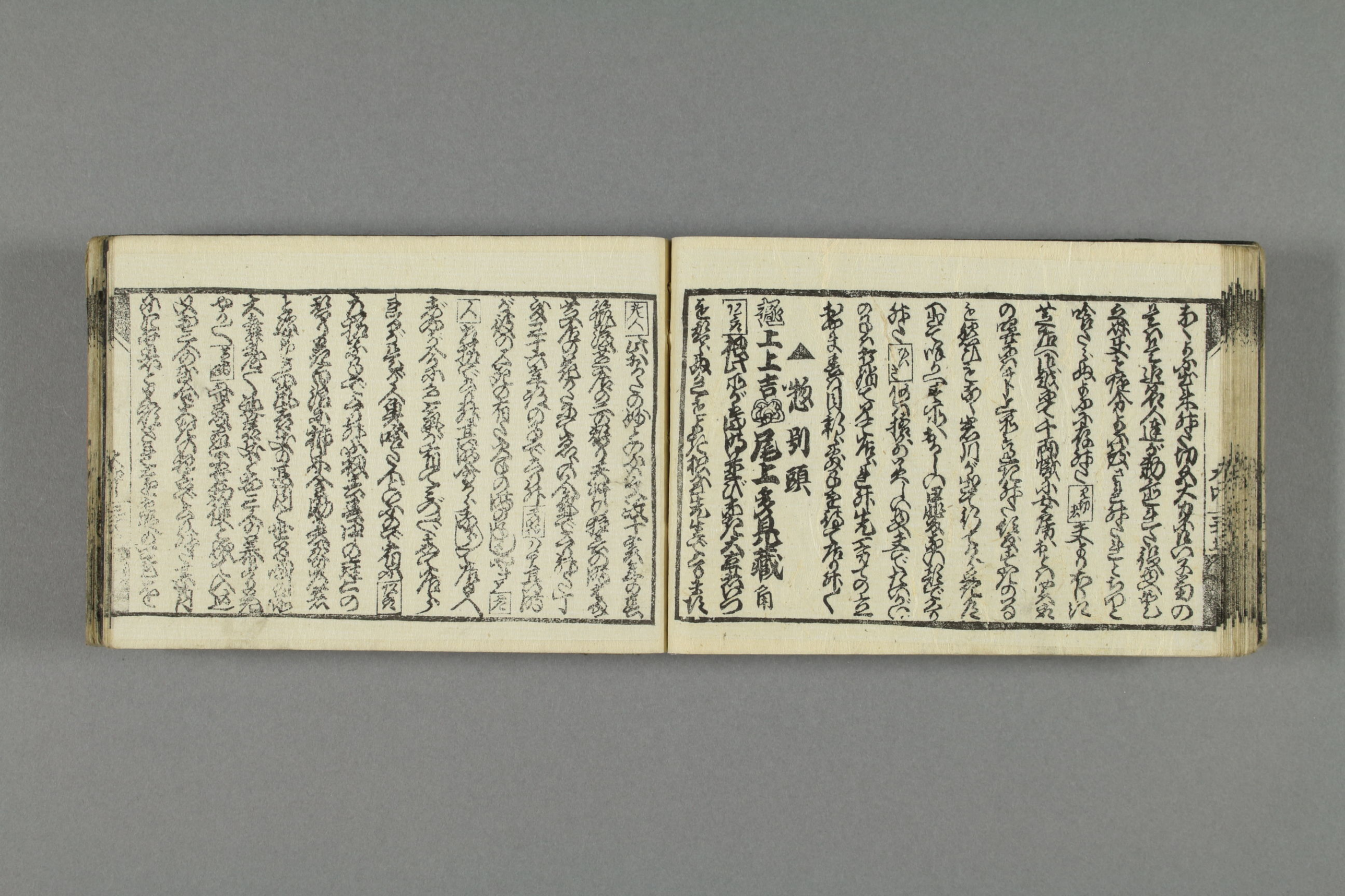
さとり 宝塚 [illegible]
[illegible] 切の [illegible] 名物 [illegible]
[illegible] 浜の [illegible]

[illegible] 美人 [illegible] 大出 [illegible]
[illegible] 真 [illegible] 娘 [illegible]
[illegible] 長 [illegible] 助 [illegible] 人分
[illegible] 師 [illegible] 役 [illegible]
[illegible] 宝塚 [illegible]
[illegible] 人 [illegible] 三人 [illegible]
[illegible] 先生の [illegible]
[illegible] 物 [illegible] 夫
[illegible] 浜の [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

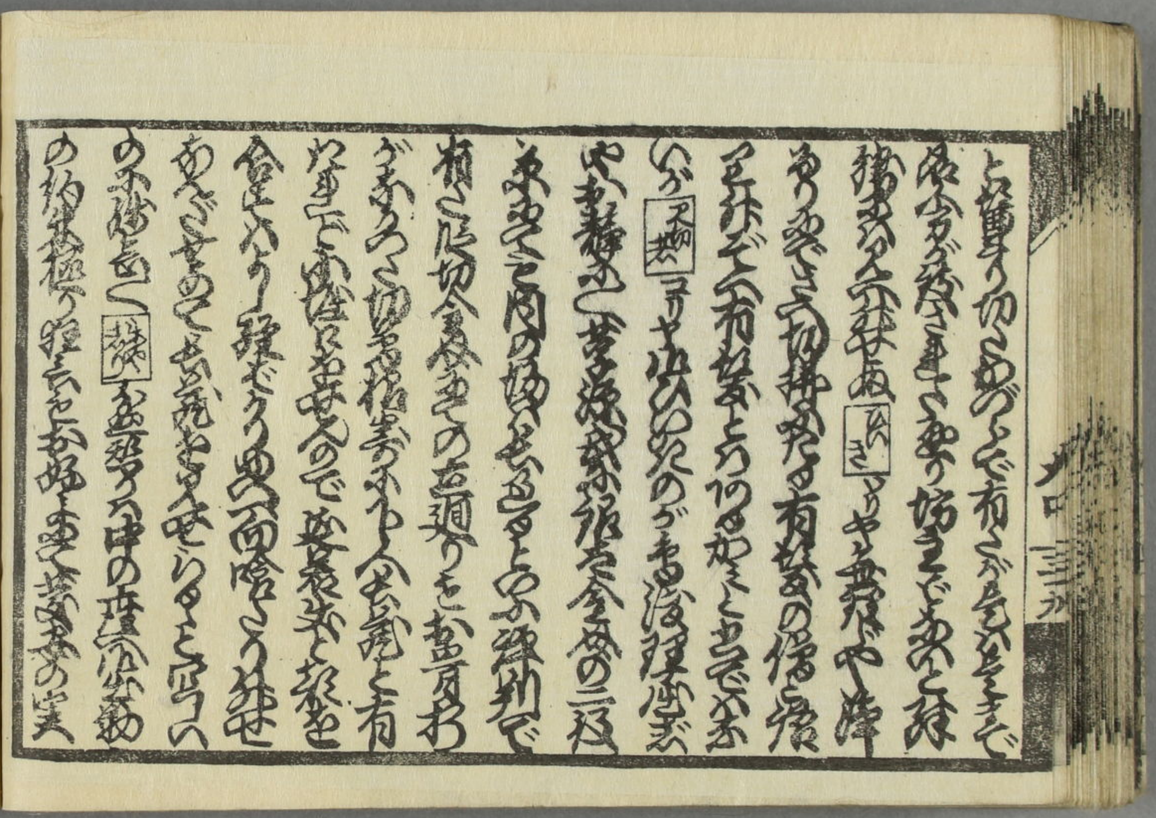
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二段は野生の花にて水仙の花を挿す
事なれども行儀は遠のいの考へ
なるべし
[ふつうの生け方]
水仙の花は冬の花にて
[野]
[冬の花の]
[生け方]
[ふつうの生け方]
[野]
[冬の花の]
[生け方]
[ふつうの生け方]
[野]
[冬の花の]
[生け方]
[ふつうの生け方]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文久二戌年正月吉日　夢遊道人

文久二
戌之春

猿者金剛傳 下

京顔見世江戸之部

文久元酉霜月吉日ヨリ
京四条南側芝居

名代

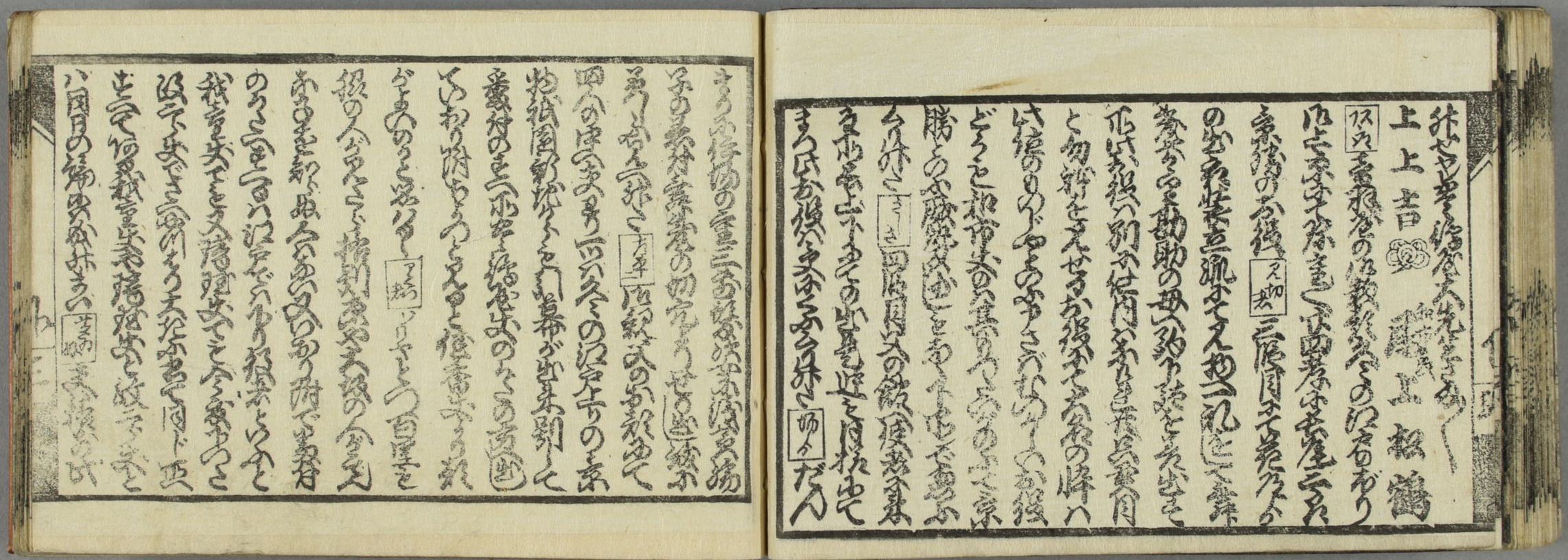
前　本朝九郎判官
次　関取千両幟
中　太平記忠義録
後　傾城阿波の鳴門

[illegible]

[illegible]

外ぬ【ヤ文】長板を抜てうつむきとあり糸
成さうせさ一流のかんへ人〳〵ゆたの長唄謡
ふやとへ陽はれ長板は長唄の長ゆてゆ
り法のぼ〳〵でお勤【ヨ】ぬ【ヤ】ぬ長板は長
のゆ【ヨ】ぬ【ヤ】ぬそりきゆの三千ゆを流をふ
ちさ物は長唄流を長の長板の長唄下
絵の姿ゆ長唄伝人の色【ヨ】の長を流【ヨ】
ゆふ長唄を張て歌ゆて歌ゆふ
外さ【ゆ】絵ゆ張て長ゆさ長ゆを張せ
んと長ゆる蛙の流長ゆ長を長ゆ長ゆ清
のまへつさ伝ゆ外て絵ゆを長ゆを
まると肯ゆまとゆ長ゆとたんの也〳〵ゆ
一流ゆ長ゆ一外さ【さゆ】長人ゆ長ゆ長
の絵を長ゆ長ゆ長ゆめゆゆゆゆ長ゆを
ちゆ市ゆゆゆ外さ市ゆの長ゆへ

外さ【えゆ】市市ゆの市ゆ長ゆ市ゆ
と絵ゆ長ゆ市ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
と人ゆ長ゆの長ゆ長ゆ長ゆめ
絵ゆの長ゆと市市ゆ長ゆ長ゆ
方ゆ長ゆ〳〵ん〳〵【ゆゆ】ゆゆゆ長ゆ
ひゆ外ゆ市ゆ外さ【ひゆ】長板今ゆの長ゆの
中ゆ長ゆ長ゆの有ゆ長ゆ長ゆ長ゆ方
長ゆ長ゆさ長ゆ長ゆ〳〵ゆ長ゆ
〳〵【ゆゆ】次ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
松ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
だゆ〳〵ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
長ゆ長ゆ〳〵ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
へゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ
ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ長ゆ



上上　嵐芳三郎

上上上　市川業三郎

上上　市川猿之助

上上　尾上菊五郎

上上士　長川八左衛

上上士　長川八左衛

上上吉　中村雀右衛門

上上吉　川村

切上吉

片岡市蔵

大上上吉

尾崎賞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 中村千之助

[illegible]

上上吉 市川滝十郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

自分はまた[illegible]
後[illegible]
いさぎよく [illegible] 橋[illegible]義[illegible]
[illegible]山義の切[illegible]
[illegible]
てきたのはまさに[illegible]
[illegible] 川[illegible] ちょ義[illegible]
[illegible]

上上吉 義川武蔵

[illegible] 義川のもとに[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
どうもありとして[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と立て行を後に嶽の麓に止まりまたもとの
道に戻り死の名所を見まもり対面の所
こゝ〳〵かゝるこゝろの[仙人]後に嶽の麓
かゝるかゝるあるべきと驚く友つゞき三人の者ども
いかゝこゝにて死なるかゝるかゝるせのうつと驚く三蓑
於義丸の三人がうちゆゞの角力にて
こゝもゞ長川のそゞ〳〵ものてゞつてもこゝ
名ぬ名ぬ[ひ]さ[ん]極と付さう長を持て
門口の所に入るゞつてまて探すかゝる
まゝ死ざつそきをれてたく死のめせイヤモウ
死さゝだのおは情又てとゝ面ゝ[ゞ]花
まうりのやうりそたゝあゝ[病]今
我の千両藏ゝ[ゞ]三ツ[ゞ]拾ゝ[ゞ]探ゝ
りのゞゝ作りゝ[ゞ]ゝ[ゞ]ゝ[ゞ]

人の角力場を去式分にて入せられ是ゞ
女神のこれわれに近所あまた男の角力
場に不入女神の行さ（モウ）松王丸と雀
矢とそれぞれ不成てはまるのハ立流で
よへ分ゞやうちく成投ぐだんをはまる
とうのでもるこて後ずまるまく法界さ
考 加ちとやの松分数七長家落三海
七郎よれ数四で有ふとそいりかぐと
ちくうでかゆ法ぐ分ず文ぐまうの留
義人分法ハ猿田矢の次ぐ三投力数と
藤人安ず十義ずとまるまく立後人ハ
ハ座ぐのかそくと知ず（及九ぐ数ぐせを）
月出さくれ納の乱弾ぐまそちのく
ぐを止ぐ分ぐ
子孫繁昌
栄出
三尾鉾上　落ち九
鎧　上友助

東都大芝居源氏絵看板目録

猿若町壹丁目　座中村勘三郎

同　二丁目　村野座三門

同　三丁目　元　守田勘弥

○見立江戸名所名物ゆかりの方の如し

▲惣巻頭

大上上吉　市川小團次　守

なつと千両の恋ぢのいろは日本橋の朝市

▲立役巻頭

上上吉　中村芝翫　市

猫と杓子ちくしの人の踊ふ浅草の観音

▲立役巻頭

上上吉　坂東彦三郎　中

京三ゐわどのゆかりの人の恋ぬ　隅田の雪

▲立役文部

上上吉　市川市蔵　守

世界ぐちとはまれぬさ仮宅

上上吉　河原崎權十郎　市

上上吉　市村家橘　紅の礼

上上吉　嵐雛助　大丸の酒店　守

上上吉　市川九蔵　大丸の服　日

上上吉　中村福助　新石二　日

上上吉　片岡我當　湯嶋の祭　中

上上吉　市川栄十郎　瀧の川紅葉　守

上上吉　中村雀之助　品川の我入　市

上上吉　関花助　今戸の花の紀　中

上上吉　市川雷蔵　中

上上吉　坂東又太郎　市

上上吉　関哥助　守

上上吉　坂東伝十郎　中

上上吉　亀井戸の寺　日

上上吉　中村勝五郎　三八　市

上上吉　坂東三津五郎　四日市の見世　日

上上吉　山嵜國二郎　市

上上吉　中村兎雀　寺

上上吉　沢村紀二郎　中

上上吉　坂東蓑三郎　市

上上吉　中村成蝶　日

上上吉　嵐嵩佳　日

上上吉　坂東八十郎　守

上上吉　嵐雛十郎　日

上上吉　市川團十郎　日

上上吉　中村調六　日

上上吉　坂東彦十郎　日

上上吉　九陵坂

▲判　座

大上上吉　斤岡仁左衛門　中
どうのくにをわたくしうたる大小名路

▲實恵獻役之部

至上上吉　関　三十郎　月　黒
ちゃぶだいあるいはあきまでどうぐあつかう

上上吉　中村鶴蔵　守　もどりの
上ゆめのいたうぬう兵利のもの　西國

上上吉　浅尾與六　市
行ちゃく勝りであやる　三十三間堂の通り矢

上上吉　中山現十郎　守
大ぜいうてきを射ぬいあふぬ浅草の塔

上上十　斤岡十蔵　市
風情とあく只世長へ十万坪

上上吉　中村龍太郎　月

上上吉　坂東村吉三郎　中
おれがもかさまの三河の鳥居
志ぬの武士とあくぬが振やるあ　筋遣

上上吉　坂東熊十郎　守
名高い稲荷の社のあいお茶の水

上上吉　松本國五郎　市
ようぶつ浄瑠璃の　大ぜいの花屋の締

上上吉　中村桃三郎　月
今戸のさらさの屋

上上吉　嵐冠五郎　守
味ぜんのあり　江戸の鍋

上上吉　嵐治中
あんぐう浄瑠璃　城の内の小刀

上上十　大谷鬼
ろんとんぐうぎゃあ

上上十　市川茅五郎　寺
はやとかりのもあ　方へさらさ太平の二品茶の屋

上上　市川七蔵　市
尾上菊四郎　守
中村千代藤　中
坂東京四郎　月
尾上鶴　寺
関川市蔵　中
市川市蔵　四
坂東五郎　月
中村武市　市

上上

こんだ里別だり　番門の宝丸盃

山崎巴二右ヱ門　市
松本武五郎　鳥
坂東薪九郎　市中
坂東乙右ヱ門　〃
尾上花五郎　〃

上上平

きくこと江戸風をさる〜新板の猿

中村鳥八　守
嵐吉六　市
川小平次　守

上上

ひいろうてきき名のうれん新版の梅の木

中村捐蔵　中
坂東三太郎　市
上嶽　〃
市川猪右ヱ門　守

上上

恋人母そもあってあくぬ鎧の渡し

岡松二三郎　中
市川茂三郎　〃
中村福太郎　市
坂東大五郎　〃
沢村竹蔵　中
沢村瀬助　市

上上

あゐくおなあがるて井戸の名高き名の滝

坂東元蔵　市
市川猿平　中
中村福玄　市
坂東薬地　中
市川東蔵　〃
市川六　守
市川小ろん平　市
坂東東市左ヱ門　〃
坂東徳太郎　守

上上

あるく〜徳ちさとうえんがるく〜西国の並び床

山崎晃蔵　市
中村福三郎　〃
市川雷蔵三郎　守
市川鳴動　〃
中村歌蔵　〃
市川三十郎　〃
市川左ヱ門　〃

上上吉

▲若女形之部

岩井粂三郎　中
見世番屋の霞今関

上上吉

沢村田之助　市
ほしいぐるまのうるつくる南鳥の花屋鋪

上上吉

市川新車　日
見せばかりのまじめどうる洞ろか愛宿

上上吉　市川團之助中
世房後ちやくしゃうふ富沢甲の帝

上上吉　中村歌女之丞市
もとの仲間のあん深井の桑守

上上吉　吾妻市之丞照守
なりたいもとどもトイフもむ堀江の盛

上上吉　坂東三津五郎三郎
おかるのいとよく次のつと首尾の松

上上吉　坂東玉三郎中

上上吉　姉川源之助市
まぐろ屋紙ゆふ入坂

上上吉　岩井半二郎中

上上　尾上菊三郎市
名もとのてゆくつの柳む

上上　市川團蔵中
並ものぐらまるのあ

上上　村三竹之助中
江戸市

上上　岡本玄治郎中

上上　関三十郎中

上上　中村助五郎市

上上　岩井半四郎守

上上　尾上菊五郎市

上上　中村鯉三郎守

上上　沢村奥山のさんふ

角髪丹前之部

河原崎國三郎市
市村竹之丞
ちいさくてもそこそこのあの拵むし

不位定

ものの仕ぶり人を
待乳山

▲若女形後見
至上上吉　尾上菊治郎守
法ゑてもを英ッてもを千両のものとぐ吉原

▲別座
真上上吉　市川團蔵市
言葉でこそこそとでも英ッ一の根岸

上上吉　坂東三津五郎三郎
首尾の松

上上吉　坂東玉三郎中

上上吉　姉川源之助市
ゆふ入坂

上上吉　岩井半二郎中

上上　尾上菊五郎市
柳む

上上　市川團蔵中
並ものぐらまるのあ

上上　村三竹之助中
江戸市

上上　岡本玄治郎中

上上　関三十郎中

上上　中村助五郎市

上上　岩井半四郎守

上上　尾上菊五郎市

上上　中村鯉三郎守

上上　沢村奥山のさんふ

角髪丹前之部

河原崎國三郎市
市村竹之丞
ちいさくてもそこそこのあの拵むし

不位定

ものの仕ぶり人を
待乳山

▲若女形後見
至上上吉　尾上菊治郎守
法ゑてもを英ッてもを千両のものとぐ吉原

▲別座
真上上吉　市川團蔵市
言葉でこそこそとでも英ッ一の根岸

▲惣後見

真上上吉　城東亀蔵市

初御と立用とおあるべし　上野

▲頭取之部

中村五郎　坂東十郎

尾上小の助

▲口上

坂市之部

坂東川仙次

坂東大和八

▲狂言作者之部

中村座　柴田治助　柴川助十郎

市村座　柴田治助　柴川清助

守田座　河竹新七　河竹弥七

千秋楽万歳乗

[校訂] 初番後出シ役者の名前ハ[illegible]

[illegible]月中旬ハ芸仕ハ[illegible]

第ハ[illegible]

[illegible]

▲江戸貴出シ役者同初下り之部

大上上吉　市川小團治　守

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上 吉

中 村芝翫 市

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

東彦三郎

中村

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御村稲助寺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上 吉同 末 中り 山現十郎 守

[乃元] 氏おもかるべし 氏は狩場の代 流れ 長山不 長橋川流
かつらぐ ぐ ぐ 川 と 酒 ぶ ぐ よ し も 大 の か 長
ぐ ぐ ぐ ぐ ぐ 持 [又初] だんまりの天 月
人 の 長 流 む ら で 有 ま 橋 長 中 大
流 ま ま 初 や つ の 二 張 ま 人 先 生 級 人 の
現 す 人 大 う 面 易 の 役 現 あ の り は 家 の ま ぐ
長 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま [まの] 号
で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま
く ま 梁 刑 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま

上 上 吉同 ◎ 中り 村 桃 三 市

[乃元] 氏おもかるべし 氏は狩場の代 流れ 長山不 長橋川流
人 の 長 流 む ら で 有 ま 橋 長 中 大
長 ま ま 初 や つ の 二 張 ま 人 先 生 級 人 の
現 す 人 大 う 面 易 の 役 現 あ の り は 家 の ま ぐ
長 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま [まの] 号
で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま
く ま 梁 刑 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま

至上上吉 ◎ 屋 下り 尾上 宗沢 郎 守

[乃元] 長女 長の 雲 [長] 長 沢 郎 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長
長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長

大上吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]を知る人[illegible]天[illegible]の[illegible]
長流不[illegible]張[illegible]
[illegible]弘[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

千穂万歳乗可

詳者 戯場堂[illegible]

板 [illegible]下[illegible]
京[illegible]
名[illegible]
[illegible]
[illegible]

文久二戌年大吉
正月吉日